

2017年度計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月

【3月8日(水)】2017年度事業計画説明会開催(企業・団体向け)
大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明

4月

【上旬】受入依頼状等を企業・団体に発送

インターンシップ研修生受入の可否及び
インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会

【4月24日(月)】受入可否・合同説明会参加可否回答締切
上記送付書類(アンケート等)の回答締め切り

6月

【6月3日(土)】合同説明会開催(9:00-17:00)

【6月28日(水)～7月7日(金)】企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接

7月

【7月初旬】各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送

8-9月

インターンシップ研修

9月

【上旬】研修先企業・団体にアンケート送付

11月

【下旬】拡大懇談会開催

各大学インターンシップ連絡先

愛媛大学

教育学生支援部
就職支援課
(担当/若宮)

〒790-8577 松山市文京町3番
TEL 089-927-8923(直)
FAX 089-927-9181
www.ehime-u.ac.jp/

松山大学

2017年度
事務担当校

教務部教務課
(担当/西村・矢野・菅)

〒790-8578 松山市文京町4-2
TEL 089-926-7137(直)
FAX 089-923-8920
www.matsuyama-u.ac.jp/

松山東雲女子大学 松山東雲短期大学

キャリア支援課
(担当/徳本)

〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1
TEL 089-913-2610(直)
FAX 089-931-6402
www.shinonome.ac.jp/

聖カタリナ大学

学生部就職課
(担当/蔵前)

〒799-2496 松山市北条660
TEL 089-993-0731(直)
FAX 089-993-0717
www.catherine.ac.jp/

編集・発行/大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会

制作/NPO法人えひめ中小企業支援協会

〒791-8057 松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ tel.089-968-3112 fax.089-968-3107

2016

Internship

Program

Report

インターンシップ・プログラム 実施報告書

2016

大学コンソーシアムえひめ インターンシップ部会

2016年度のインターンシップ研修実施の御礼と 来年度以降の取組への御協力のお願い

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会 2016年度部会長 泉 日出男
(愛媛大学インターンシップ委員会委員長)

地域の企業・団体のみなさまには、日頃から大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の活動に、多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。

本年度は、99の企業・団体のみなさまに、松山大学・聖カタリナ大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・愛媛大学の5大学から473名もの学生を快く受け入れていただきました。受け入れていただきました企業・団体さまには、これら多くの学生を指導いただき、インターンシップ研修を無事に終えることができましたこと、重ねて御礼申し上げます。

おかげさまで、大半の学生は、このインターンシップ研修に満足し、高く評価しています。それらの一例として、本実施報告書に「参加者の声」を紹介しておりますので御高覧ください。学生は、アルバイトとしてではなく、研修カリキュラムに沿って、指導を受けながら働くということがいかに責任を伴い、大変であるかを身をもって体験してきました。学んだことを日常の学生生活で活かそうとする学生に対し、大学としてどのようなフォローが必要であるか、引き続き検討して参りたいと思っております。

一方、学生を受け入れてくださった企業・団体のみなさまからも、「インターンシップ研修を担当した職員が成長した」「研修生を受け入れたことで職場が活性化した」等、概ね好評をいただくことができました。これもひとえに、本プログラムの趣旨を御理解いただき、学生と真摯に向き合っていただけた結果だと、心から感謝いたしております。

インターンシップ部会では、次年度以降も学生を送り出す大学側と、受け入れていただける企業・団体さま、双方に有益なインターンシップ研修となるよう、さらなる質の向上に向けて努力して参りたいと存じます。

今後とも、御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

これまでの経緯



1990年代初頭にバブル経済が崩壊して以後、「失われた10年」はこれまでの日本型システムの多くを変容させ、特にその当時、新卒学生の就職状況が悪化する中で、フリーターやニートといった若者雇用問題が大きな社会問題となっていました。

そのような中、1997年9月、当時の文部省・通商産業省・労働省の三省は合同で「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」を発表しました。在学中に就業体験を行うというこれまでの学校教育にはない新しい取り組みが政策レベルで模索され始め、今日では多くの高等教育機関でその実践が展開されています。

愛媛県内の高等教育機関でも独自にインターンシップを教育課程に取り入れてきましたが、無差別な受入要請が地域におけるマッチング秩序を混乱させるという事態が発生しました。2003年、受入先等の要望もあり、愛媛県中小企業家同友会の協力を得て、県内4大学(愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学)が中心となり地域における大学生のインターンシップを統一的に運営するため、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」が設立されました。

2009年には、愛媛県内で大学コンソーシアムができ、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」は「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行しました。しかし、設立当初からの目的や地域の各組織との連携関係を変えることなく、2013年度からは聖カタリナ大学も加え、5大学で発展的に事業を展開しています。



インターンシップへの取り組み

▶ 愛媛大学 ◀

国立大学は、6年ごとに中期目標を定め、その取組を行っています。法人化以後、現在は「第三期中期目標期間」にあり、2016年度よりその期間が開始されています。愛媛大学は、「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学を創造すること」をVisionとしています。

大学戦略として、特に重視されているのが「地域の持続的発展を支える人材育成の推進」です。具体的な成果として「卒業生の愛媛県内就職率アップ」「愛媛大学版汎用的能力の習得率アップ」「卒業生に対する企業等の評価アップ」を掲げています。

2003年の愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会によるインターンシップが始まって以後、インターンシップは学内で社会へと移行する学生の成長を支える重要な教育活動として位置づけられてきました。毎年約150人以上の学生を送り出し、これまで累積で2000人近い学生にコンソーシアムえひめによるインターンシップを経験してもらったことになりましたが、「第三期中期目標期間」では、学内でのインターンシップの重要性がさらに増しています。

愛媛大学は、2016年度、地域の課題を解決するための人材を育成する「社会共創学部」を設置しました。社会共創学部では、文理融合の多彩なカリキュラムが用意されますが、社会共創学部の学生のほとんどがインターンシップを行うことが企画されています。また、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の採択により、地域に貢献できる人材を育成するため取り組みが全学で行われています。

今後とも、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

▶ 松山大学 ◀

松山大学におけるインターンシップの取り組みは、経営学部において1995年に学生自らが研修受け入れ先と受け入れ交渉を行い、職場研修を行う方式により開始されました。また、経済学部では1998年に愛媛県中小企業家同友会と西四国観光ネットワーク「るーらるばけっと」の会員企業を中心とした研修受け入れ先に学生を派遣し職場研修を行う方式により開始され、その後制度が統合され、2002年度からは文系学部すべてで実施される全学部共通のプログラムになりました。

さらに、これまでは「共通教育科目」の1つであったインターンシップ関係科目が、2012年度からは独立した「キャリア教育科目」として位置づけられ、大学の教育活動の中で、ますます重要なものとなっています。

本学のプログラムは、前期に事前講義として「インターンシップ活用I」(全15回の講義)、夏季休暇期間を利用した「インターンシップ研修」(実働30時間以上、もしくは実働60時間以上の実務研修)、さらに後期に事後講義として「インターンシップ活用II」(全15回の講義)という形で実施しております。

松山大学では、2016年度、196名の学生が「インターンシップ研修」を行いました。毎年、研修を受けた学生の代表による研修報告会を開催するとともに、各受け入れ先の研修報告を冊子にまとめ、その成果を公開しています。このような教育活動が可能となっているのも、ひとえに研修生を受け入れてくださる事業所・団体があつたからこそであります。インターンシップにご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後の変わらぬご支援をお願いいたします。

▶ 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 ◀

本学では、2003年度より女子大学および短期大学でキャリアサポートセンターを中心にインターンシップ研修を進めて参りました。現在はキャリア支援課において、インターンシップ研修や低学年からのキャリア教育、就職活動に至るまで一貫して支援を行う態勢を整えております。2012年度から2014年度まで取り組んだ文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」では、卒業生や愛媛県内企業等を対象とした産業界ニーズに応える“汎用的能力”に関するアンケートや在学生・卒業生の実態調査を実施いたしました。それらの結果を踏まえ、学生の主体性や課題発見力強化のため様々なキャリア支援プログラムに挑戦しています。

また、教育課程内においてもキャリア教育の取組を行っています。女子大学では、様々な社会人を講師に招き、職業について考える「キャリア論」や「ビジネスコミュニケーション」などの科目を配置し、今年度からは1年次からインターンシップ研修やPBLを取り入れ初年次教育を強化しました。短期大学では、従来より職業に直結する教育を展開して参りました。中でも現代ビジネス学科では、1年次からインターンシップ研修を含む多様なビジネス体験を取り入れた科目を設置し、ビジネス社会に必要な知識・技能の習得を目指した体系的なカリキュラムを展開しています。

このように女子大学・短期大学ともに、全学を挙げてインターンシップ研修に取り組み、事前・事後指導の拡充に努めております。昨年度からは、学内で開催されましたインターンシップ報告会に受入企業・団体様にもお越しいただき、学生の“気づきや振り返り”をサポートして頂いています。自分自身と向き合い、社会人としての責任の重さを痛感したインターンシップ研修の学びが、さらに深まる大変有意義な機会となりました。受入企業・団体の皆様におかれましては、引き続き“働くことの意味・やりがい”などについてもご指導賜り、今後とも主体的に考え行動できる学生の育成に変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

▶ 聖カタリナ大学 ◀

聖カタリナ大学は、2013年度より大学コンソーシアムえひめのインターンシップ・プログラムに正式に参加させていただいており、本年度(2016年度)で4年目となりました。本年度からは、人間社会学科にくわえ、社会福祉学科および健康スポーツ学科もくわわり、全学的な取組みとしてインターンシップ・プログラムを推進しております。

本学では、就職課を中心に行っている就活支援のさまざまな取組みにくわえ、正課科目である「インターンシップ」(前学期、週1回、全15回)において、インターンシップ研修のための事前指導を行い、社会人として求められる知識やノウハウ、ビジネスマナーの習得を図っています。具体的な授業内容としては、担当教員によるキャリア意識の形成や職業観に関する講義・指導、外部講師によるマナー講習など、就職活動にむけたレクチャーを行っています。研修後には、各自の学びを『インターンシップ研修報告書』として冊子にまとめるとともに、後学期に研修報告会を開催して、成果の共有と振り返りを行っています。

本年度は、3学科で36名(24事業所)をインターンシップ研修に送り出すことができました。参加学生の様子を見ますと、研修を通じて、職場で働くことの厳しさや責任の重さを実感したり、また他大学の学生から刺激を受けたりして、態度と意識の両面で大きく成長する姿を見て取ることができました。各学生が就職活動を行い社会に出ていくにあたっての課題や自らの方向性について考える格好の機会をいただくことができました。学生を受け入れて下さった企業・事業所のみなさまには心より御礼を申し上げます。

聖カタリナ大学は、2017年4月に看護学科を新たに設置いたします。地域社会に貢献する多様な人材を養成するため、キャリア教育のさらなる充実に取り組んで参ります。インターンシップ・プログラムにおきまして、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016年度 インターンシップ研修報告

今年度も県内5大学に在籍するたくさんの学生が参加し、インターンシップ研修が行われました。
受け入れ企業向けの事業計画説明会を始め、年間を通じた研修事業の状況をご報告いたします。

事業計画説明会



受入を検討されている52の企業・団体等にご参加いただき、事業の方針やプログラムを説明。その後は大学関係者も加わり「インターンシップは、いい人材確保に繋がるか?」と題して、ワークショップを開催しました。どのような研修を実施すると、仕事のやりがいや働く姿勢、組織の魅力など伝えることができるのか、全員でよりよいインターンシップ研修について討議しました。

合同説明会

愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学に在籍する600名以上の学生が参加。早々に満席となり、立って話を聞く学生が出るほどの盛況ぶりでした。その後は、参加企業や団体のプレゼンテーションを聞き、個別面談ブースをまわって研修内容の説明を受けたり、様々な質問をしたり、活発に活動していました。



拡大懇談会

その年のインターンシップ事業を総括するため、毎年この時期に開催しています。今回は、研修生を受け入れていただいた21の企業・団体にご参加いただき「インターンシップ受入のポリシーの作成」と題してワークショップを開催。各グループごとに、自社のインターンシップにおける目的や展望、行動計画などを出し合い、ポスターセッションを行って、参加者全員でそれぞれの状況を共有しました。



3/7
月

インターンシップ受入プログラム合同説明会への参加の有無とインターンシップ研修生受入プログラム内容に関するアンケート送付

4月
【下旬】

5月
【上旬】

アンケート等の締め切り

6/11
土

7月
【上旬】

各大学から学生の研修申込書を研修希望先へ送付

7月
【中旬】

研修希望先での面接

8月～
9月

インターンシップ研修
(5大学合計473名が
99の企業・団体で研修を受ける)

9月
【下旬】

インターンシップ研修生
受入企業へのアンケート
(回収数78／配付数99)

11/29
火

参加者の声



愛媛大学

法学部
総合政策学科 3年
いとう しょうた
伊藤 将汰

研修先 濱田農園

インターンシップの経験を通して、生き方、価値観、組織、ビジネスなど企業に必要なことと人として大切なことをたくさん学ぶことができ、貴重な経験となった。あいさつは人として当たり前のことだが、これをしっかりすることで周囲から受ける印象は大きく変わり、幸せな人生を送ることができると改めて感じた。また、集団生活は5人で送り全員が初対面で最初は少し緊張感があったが、自分から積極的に交流し、すぐにみんなと打ち解けたのでこれは今後の自信につながった。

二年後社会人になるが、アルバイト以外で実際に企業の一員として働くことは今後の人生で生かすことができる本当に貴重な経験となった。就職活動まであと半年ほどしか残されていないが、自分から積極的に動くことが何より大切だと思う。今回の経験をただの経験で終わらせず、自信に変え、さまざまなことに挑戦していきたいと思う。そして、自分の知らないことを多く学び視野を広げ、自分の今の基準を変えたいと思う。

松山大学

経営学部
経営学科 3年
いしやま ふみな
石山 史奈

研修先 伊予鉄道 株式会社

私は「インターンシップで得られるものは、自分の考えや行動次第で大きくも小さくなる」と研修前に授業で教えてもらったので積極的に行動しようと考えていました。

研修では周りを見て自ら考え行動することができたり、資料から読み取れることもメモしたり、働いている方に積極的に質問して話を聴いたりしました。そうしたことを通じて、目的にしていた自分のイメージとの相違点や共通点も見つけることができました。また資料をみて情報を得るだけでは気づけなかったことも分かり、鉄道への知識も増えるとともに興味・関心も以前より増えたと感じています。また初対面の人と話すことや人前で話すことが苦手で、企画発表や初めて会う他の研修生と仲良くできるか不安でしたが、研修が始まると自分が意外と初対面の人と話せることや、発表もできることが分かり少し自信に繋がりました。

5日間という短い時間でしたが、研修を通して目的・目標としていたことも達成されるだけでなく、自分を見つめ直すこともできとても楽しく有意義な時間が過ごせ、自分の視野を広げるきっかけになりました。

今後の大学生活では学んだことや気付いたことを活かして、これからも積極的に目的・目標をもって行動したいと考えています。

松山東雲女子大学

人文科学部
心理子ども学科 2年
さかもと ゆか
坂本 有香

研修先 NPO法人 こころ塾

インターンシップ研修に行く前は、働くことについて、「生活していくため、社会との関わりを持つため」と考えていましたが、インターンシップ研修を通して、自分のためではなく「人のため、傍の人を楽にするため」であるということ学びました。

今後の学校生活で意識していきたいことは、物事に時間配分を決めて解決していくようにすること、たくさんの人と関わりを持ち、社会人になるまでにコミュニケーション能力を高めておくことです。

「10日間は長いな」という不安がありましたが、内容の濃いスケジュールであったため、最終日には寂しくなるくらい本当に充実した10日間を過ごすことができました。朝礼の場で毎日発表することにより人前で話すことに今まで以上に慣れ、また、他人のことばをしっかり聴くことも学びました。

今回の研修では、多くのことを学ぶ良い機会となりました。研修で感じたことを共有し合い、学んだことを活かせるようこれからの学生生活も頑張っていきたいと思っています。

松山東雲短期大学

現代ビジネス学科
1年
なかもと ちひろ
中本 千尋

研修先 株式会社 ジョイ・アート

インターンシップ研修を終えて、社会人というのは、いつも自分をしっかりと持ち、今よりもよくするために前向きに頑張っていってやる人のことだと感じました。

研修中、舞台裏にはたくさんの方々がいっぱいました。舞台をつくりあげる中で、関わっている方々一人ひとりが一生懸命考え、アイデアを出し合い、行動される姿を見て、大変感動しました。私も、将来、自分の担当以外でも、仲間に手を貸したり、みんなで協力し合えるような、そんな社会人になりたいと思います。

私は些細なことで落ち込みがちですが、切り替えと行動の早い研修先のスタッフの皆さんのように、今後はあまり引きずらず、前向きな考え方を忘れないようにしたいを思います。今後の学生生活では、どのような場面でも自発的に行動できるよう、授業や課外活動を通して自分を高めていきたいです。

社会人になるまでに、今よりも素敵な自分になるよう努力を続けます。

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部
人間社会学科 3年
いとう まさひこ
伊藤 雅彦

研修先 伊予鉄道 株式会社

私は、就職活動を始めるにあたって社会で働くことは何かを知り、自分自身の弱点を見つけ出したいと考え、コミュニケーション能力のさらなる向上を目標に立てて、インターンシップに参加しました。

研修では、座学、体験業務、施設見学を行いました。その中で私が一番印象に残っているのは、体験業務で行った駅での改札です。駅の改札は、切符の確認をするだけでなく、乗り場の案内やカードのチャージなど多岐にわたり、利用者として想像する内容とは大きく違っていました。松前駅でも改札業務を体験したのですが、乗降客は多くないものの、駅員さんと地域住民との深い交流があり、地域にとって必要不可欠であり、愛されている駅であると強く感じました。

研修を終えて、多くの人が関わり、目標に向かって日々仕事に取り組んでいることを理解することができました。仕事をする上での心得を学び、実際に行うことができ、たいへん有意義な研修だったと思います。今後はこの経験を生かし、私自身の目標に向かって、日々挑戦し続けたいと思います。

研修生受け入れ企業担当者 アンケート集計結果から

今後のインターンシッププログラムをより良くしていくため、今年度に参加していただいた99の企業・団体のご担当者に対して研修が終了した平成28年9月にアンケートを実施。そのうち78社から回答を得ました。

インターンシップ研修生を受け入れていただき、得られた効果としては「学生の就業意識が向上した」「指導にあたった社員が成長した」「大学や学生に自社の認知度を高められた」など、本事業の主旨をご理解いただきつつ、受け入れが組織の活性化やPRにも貢献していると、8割方企業・団体の皆様に感じていただいております。

反面、「学生の意見や提案が仕事の改善につながった」点については明確な傾向が見えず、学生のスキルによって差が生じていることがうかがえます。また、「（受け入れが）新卒採用の指針作成に役立っている」という点についても同様の結果が表れていますが、こちらは学生の雰囲気や採用指針の参考になる場合と採用とは一線を画したインターンシップの受け入れ対応が行われている場合、それぞれの効果の結果と解釈できます。

今年度、研修生を受け入れていただいた企業・団体の大部分がそのメリットを感じていただき、今後も継続して受け入れる意向を示していただいたことは、本事業への理解が進み、定着しつつあると考えております。



受入企業・団体一覧（順不同）

1	株式会社 アイコーポレーション	51	株式会社 セブンスター
2	株式会社 ありがとうサービス	52	DCMダイキ 株式会社
3	医療法人 大志会 介護老人保健施設 アンビションうちこ園	53	株式会社 ダイキアクシス
4	社会福祉法人 育和会 久万保育園	54	太陽石油 株式会社
5	一宮運輸 株式会社	55	有限会社 塚本イズムジャパン
6	今治市役所	56	株式会社 テレビ愛媛
7	伊予市役所	57	東温市役所
8	株式会社 伊予鉄高島屋	58	東京海上日動火災保険 株式会社
9	伊予鉄道 株式会社	59	東京第一ホテル松山 八紘開発 株式会社
10	株式会社 ヴァンサンカン	60	東横イン 松山一番町
11	株式会社 内子フレッシュパークからり	61	トヨタL&F西四国 株式会社
12	社会福祉法人 松山紅梅会 高齢者総合福祉施設 梅本の里	62	トヨタカローラ愛媛 株式会社
13	宇和島市役所	63	株式会社 トヨタレンタリース西四国
14	SMBC日興証券 株式会社	64	NPO法人 どんまい
15	NPO法人 えひめグローバルネットワーク	65	南海放送 株式会社
16	愛媛県警察本部	66	新居浜市役所
17	愛媛県	67	株式会社 日本エイジェント
18	愛媛県立とべ動物園(指定管理者:公益財団法人愛媛県動物園協会)	68	ネットヨタ南国 株式会社
19	株式会社 愛媛CATV	69	NPO法人 俳句甲子園実行委員会
20	国立大学法人 愛媛大学	70	はるやま商事 株式会社
21	えひめ中央 農業協同組合	71	株式会社 ヒカリ
22	愛媛トヨタ自動車 株式会社	72	株式会社 ファースト・コラボレーション
23	有限会社 愛媛ヒアリングエイド(えひめ補聴器センター)	73	株式会社 フェローシシステム
24	株式会社 えひめりびング新聞社	74	株式会社 フジ
25	愛媛労働局	75	ベルグアース 株式会社
26	株式会社 オハナ生活倶楽部	76	星企画 株式会社
27	花王サニタリープロダクツ愛媛 株式会社	77	株式会社 ホテル椿館
28	株式会社 ガリレオコーポレーション	78	森の国ホテル(株式会社松野町農林公社)
29	一般財団法人 休暇村協会 休暇村瀬戸内東予	79	公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団
30	霧の森(株式会社やまびこ)	80	松山市役所
31	株式会社 クック・チャム四国	81	松山赤十字病院
32	社会医療法人 石川記念会 HITO病院	82	松山総合開発 株式会社(松山全日空ホテル)
33	こうち人づくり広域連合	83	学校法人 松山大学
34	医療法人 こくま小児歯科・歯科	84	松山地方法務局
35	認定NPO法人 こころ塾	85	株式会社 マルナカ
36	認定こども園 小羊園	86	株式会社 松山三越
37	株式会社 コモテック	87	株式会社 三好鉄工所
38	佐伯公認会計士事務所	88	株式会社 地域法人 無茶々園
39	西条市役所	89	医療法人 ゆうの森
40	NPO法人 西条まちづくり応援団	90	株式会社 夢とありがとう
41	佐川印刷 株式会社	91	株式会社 ヨシケンコーポレーション
42	株式会社 サニクリーン四国	92	合資会社 ワークショップco.松山
43	自衛隊 愛媛地方協力本部	93	NPO法人 ワークライフ・コラボ
44	四国中央市役所	94	株式会社 アステティックスジャパン
45	株式会社 ジョイ・アート	95	株式会社 エイチ・アイ・エス
46	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構(ジョブカフェ愛work)	96	株式会社 エフエム愛媛
47	株式会社 スイッチカンパニー	97	特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト
48	聖カタリナ大学	98	四国医療サービス 株式会社 国際ホテル松山
49	生活協同組合 コープえひめ	99	濱田農園
50	摂陽明正 株式会社		